



月・火休館、祝日開館 開館時間 9:30~17:00

月	火	水	木	金	土	日
月火曜日は 休館日			1 陶芸教室 夜間開放	2	3	4
5	6	7	8 夜間開放等 お休み	9	10	11
12 祝日 開館	13	14	15 夜間開放等 お休み	16	17 わくわく	18
19	20	21	22 陶芸教室 夜間開放	23	24 わくわく 予備日	25 森へ 行こう
26	27	28	29 陶芸教室 夜間開放	30	31	

今月のご案内

わくわく土曜日ランド 〈川のいきもの調査〉

町内の川に入り、いきものを見つけて捕まえます。
どんないきものに出会えるかな？

【日 程】8月17日（土）※予備日 8月24日（土）

【時 間】3~6年生は10:00~12:00
1~2年生は14:00~16:00

【集 合】町民センター（9:55 もしくは 13:55）

【対 象】町内の小学1~6年生
※親子参加可。初参加の1年生は保護者同伴。

【定 員】各回15名 【参加費】300円

【持ち物】濡れてもいい服装、濡れてもいい運動靴、
タオル、水筒、帽子、リュック、着替え

【申込み】前日の17:00までにブナセンターへ電話
※予備日も参加可能かお伝えください。

【その他】雨天や川が増水した場合、
予備日に延期、もしくは中止

夏休みのお知らせ

◆川遊びの道具、貸し出します

夏休みの定番！魚とりや貝化石とりに
活躍する道具を貸し出しています。

◇魚とりの道具

箱めがね、網、バケツ

◇貝化石の道具（川に入ってとります）

ドライバー、くぎ、スコップ、
クリーニング用ブラシなど



◆木工房でクラフトに挑戦

バードコールや小枝のストラップなど。
夏休みの自由工作にいかがでしょうか？
（工房利用料・材料費がかかります）



◆「夏の森・ウォークラリー」

ブナの小道（30分）と森林公園（1時間）
の2つのコースがあります。
参加した方に記念品（オリジナル樹木
カード）をプレゼント。（参加費：無料）



◆工房のお盆休み

8月8日、15日は夜間開放をお休みします。



森へ行こう

〈歌オブナ林＊花ごよみ〉

歌オブナ林散策路沿いの開花調査をしながらブナ林
の終点まで行きます。咲き始めた秋の花をみつけま
しょう。午前からの参加もOKです。

【日 程】8月25日（日）

【時 間】9:30~14:30

【集 合】歌オブナ林駐車場

【参加費】300円 ※ブナさば会員は無料

【持ち物】野外で活動できる服装、
長靴、雨具、のみもの、
虫よけ、昼食、敷もの

【申込み】不要

【その他】雨天の場合中止



昨年度はブナセンター30周年。
皆様のご支援・ご協力に感謝
の年でした。

これからは歌オブナ林天然記念物指定100周年
（2028年10月22日）へ。あと4年です！



Facebookの
QRコードは
こちら

発行所：黒松内町ブナセンター
〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1
TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440
MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>
FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>

身近なブナの木① ～役場前のブナの並木～

黒松内の町木は「ブナ」。たとえブナ林に行けなくても、もっと身近な所でブナの木を楽しめるようにと、町内のいろいろな場所にブナが植えてあります。皆さんが普段よく行く場所にもブナがあるかもしれません。そんな身近なブナの木を紹介するシリーズです。

「外国ではブナの並木や生垣があり、人々が大切にしている。黒松内にもぜひブナの並木を。」と提案してくださったのは、故八木健三先生と故辻井達一先生です。1998年、歌オブナ林天然記念物指定70周年のブナフォーラムでのことでした（ブナフォーラム'98 報告書より）。

その3年後、役場前の通りに約30本のブナが植えられました。何度か剪定を施した小さな並木ではありますが、春の新緑、秋の黄葉、と四季の美しさを見せてくれています。

- 八木健三先生：北海道大学・東北大学名誉教授、北海道自然保護協会会長など。知床国有林の保護活動にご尽力された。
- 辻井達一先生：北海道大学付属植物園長、北星学園大学教授、北海道環境財団理事長など。本町の生物多様性保全奨励事業選考委員長を長く勤められ、北限のブナ林の「北海道遺産」選定にもご尽力された。



池田商店給油所からAマートへ抜ける道の両側に植えられたブナの並木。写真右手には役場、左手にブナの森診療所があります。

…学芸員から見た2つのブナ林…

黒松内は夏の景色もサイコーです。のどかな農地、橋の上から見える魚影、そして濃緑のブナ林。ブナ林の中でも、散策路を歩いてゆったりと森を眺められるのは、歌オブナ林と添別ブナ林でしょう。今回はそんな2つの森について、わたしの主観を交えてご紹介します。

歌オブナ林



森のようす

直径1m、樹高30mをこえる巨木が生えている原生林。原始の姿をとどめる森が、ご近所で気軽に見られるのがすごい。散策路沿いに咲く、季節の花を眺めるのも楽しみ。

添別ブナ林



直径40～50cmの若いブナが多い。100年ほど前に一度伐採され、自然に再生した二次林。年月をかけてブナ林として蘇った、生命のパワーを体感できる。

社会との関わり

国有林。昭和3年に国の天然記念物に指定。道の鳥獣保護区。このような制度(法律)にがっちり守られ、動植物の採集は禁止。採集や物の設置をするときは文化庁の許可が必要。

町有林。平成8年に町が購入し公有地化。令和5年に環境省の自然共生サイトに認定されたことで、国際的な生物多様性保全の目標「30by30」※に貢献している森。

※「30by30」が気になる方はこちら→<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/> (環境省HP)

これら2つの森のなかでも、法的制約の少ない添別ブナ林のブナの木は、いろいろな調査研究に活用されてきました。たとえば、北海道のブナの葉が大きいのは遺伝的なものなのか？ブナの花が数年に1度咲くときに働くメカニズムは？…そんな生命神秘の謎が、添別の森から紐解かれるって、ちょっとわくわくしませんか？9月には、添別ブナ林で長年研究をされてきた北海道大学 斎藤秀之先生による「ブナセンター講座」を開催します。お楽しみに…！（永田）